

Isa

Chapter 28

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

זָכוּ	נָבַל	וַיְצִיץ	אֶפְרַיִם	שֹׁכְרֵי	גְאוֹת	עֲטֹרַת	הוּי	1
栄光の	褒える	そして-しおれる-花は	エフライムの	酒に-酔う-者たちの	誇りの	冠は	ああ	
			H0669	H7910	H1348	H5850	H1945	
יַיִן:	הִלּוּמִי	שְׁמָנִים	גֵּיאַ	רֹאשׁ	עַל-	אֲשֶׁר	תְּפָאֲרָתוֹ	
酒に	打ち-倒された-者たちの	肥えた	谷の	頭の	~の-上に	それは	その-輝きの	
H3196	H1986	H8081	H1516				H8597	

エフライムの酔いどれの誇る冠と、酒におぼれた者の肥えた谷のかしらにあるしばみゆく花の美しい飾りは、わざわざいだ。

כְּזָרָם	קָטַב	שֶׁעַר	בְּרָד	כְּזָרָם	לְאֲדָנָי	וְאִמָּן	חֲזָק	הִנֵּה	2
大水の-ように	滅ぼす	暴風の	雹の	雹の-嵐の-ように	主には	そして-力ある-者が	強い	見よ	
H2230	H6986		H1259	H2230	H0136	H0533	H2389	H2009	
			בְּיָד:	לְאָרֶץ	הִנִּיחַ	שֹׁטְפִים	כְּבִירִים	מַיִם	
			手で	地に	投げ-倒す	あふれる	激しい	水の	
			H3027	H0776	H3240	H7857	H3524	H4325	

見よ、主はひとりの力ある強い者を持っておられる。これはひょうをまじえた暴風のように、破り、そこなう暴風雨のように、大水のあふれみなぎる暴風のように、それを激しく地に投げうつ。

אֶפְרַיִם:	שֹׁכְרֵי	גְאוֹת	עֲטֹרַת	תְּרַמְסָנָהּ	בְּרַגְלָיִם	3
エフライムの	酒に-酔う-者たちの	誇りの	冠は	踏み-じられる	足で	
H0669	H7910	H1348	H5850	H7429	H7272	

エフライムの酔いどれの誇る冠は足で踏みにじられる。

גֵּיאַ	רֹאשׁ	עַל-	אֲשֶׁר	תְּפָאֲרָתוֹ	זָכוּ	נָבַל	צִיֵּצַת	וְהִיָּתָה	4
谷の	頭の	~の-上に	それは	その-輝きの	栄光の	褒える	しおれる-花は	そして-なる	
H1516				H8597			H6733	H1961	
אוֹתָהּ	הִרְאָהּ	יִרְאָהּ	אֲשֶׁר	קִיץ	בְּתָרֵם	כְּבִכּוּרָהּ	שְׁמָנִים		
それを	見る-者が	見る	それを	夏の	まだ~の-前に	初なりの-いちじくの-ように	肥えた		
H0853	H7200	H7200		H7019	H2962	H1061	H8081		
						ס	יִבְלַעְנָהּ:	בְּכַפּוֹ	בְּעוֹרָהּ
						—	飲み-込む	手の	まだ~の-うちに
							H1104	H3709	H5750

肥えた谷のかしらにあるしばみゆく花の美しい飾りは、夏前に熟した初なりのいちじくのような。人がこれを見ると、取るやいなや、食べてしまう。

וְלִצְפִירָתָּהּ	זָכוּ	לְעֲטֹרַת	צְבָאוֹת	יְהוָה	יְהִי	הָהוּא	בַּיּוֹם	5
そして-輝かしい-花輪と	栄光の	栄光の-冠と	万軍の	万軍の-主は	なる	その	その-日に	
H6843		H5850		H3068	H1961	H1931	H3117	
				עַמּוֹ:	לְשָׂאֵר	תְּפָאֲרָהּ		
				その-民の	残りの-民の-ために	美の		
					H7605	H8597		

その日、万軍の主はその民の残った者のために、栄えの冠となり、美しい冠となられる。

12
 אָמַר אֲלֵיהֶם זֹאת הַמְנוּחָה הַנְּיָחוּ לְעֹיֵף וְזֹאת הַמְרִגְעָה
 言った 彼らに 安息である 休ませよ 疲れた-者を 憩いである
 H0559 H0413 H2063 H4496 H5117 H5889 H4774 H2063

וְלֹא אָבוּא שְׁמוּעַ:
 しかし-それでも 耳を-傾けなかった 聞くことを
 H3808 H0014 H8085

主はさきに彼らに言われた、「これが安息だ、疲れた者に安息を与えよ。これが休息だ」と。しかし彼らは聞こうとはしなかった。

13
 וְהָיָה לָהֶם דְּבַר-יְהוָה צְוֹ לְצֹו צְוֹ לְצֹו קוּ לְקוּ
 そして-なった 彼らに-とって ~の-言葉が 主の 命令 命令に 命令 規則 規則に
 H1992 H1961 H3068 H1697 H6673 H6673 H6673 H6673 H2063

קוּ לְקוּ זְעִיר שָׁם זְעִיר שָׁם לְמַעַן יֵלְכוּ וְכִשְׁלוּ אַחֲרָי
 規則 規則に 少し ここに 少し 行っ 行って 後ろに して-つまずき
 H2191 H8033 H2191 H8033 H4616 H3212 H3782 H268

וְנִשְׁבְּרוּ וְנִקְשָׁו וְנִלְכְּדוּ:
 して-砕かれ して-畏に-かかり して-捕えられる
 H7665 H3369 H3920

それゆえ、主の言葉は彼らに、教訓に教訓、教訓に教訓、規則に規則、規則に規則、ここにも少し、そこにも少しとなる。これは彼らが行って、うしろに倒れ、破られ、わなにかけられ、捕えられるためである。

14
 לְכוּ מְשָׁלֵי הָעָם הַזֶּה דְּבַר-יְהוָה שָׁמְעוּ לְכוּ אֲנֹשֵׁי הָעָם הַזֶּה
 行っ 治める-者よ 嘲りの 嘲りの-人々よ 主の ~の-言葉を 聞け それゆえ
 H4910 H3944 H0376 H3068 H1697 H8085 H2088

וְאֵשֶׁר בִּירוּשָׁלַם:
 エルサレムに ~に-いる
 H3389

それゆえ、エルサレムにあるこの民を治めるあざける人々よ、主の言葉を聞け。

15
 כִּי אָמַרְתָּם כְּרַתְנוּ בְרִית אֶת-מֹות וְעַם-שְׂאוֹל עָשִׂינוּ חוּה
 なぜなら あなたがたは-言った 結んだ 契約を ~と 死と して~と よみと 協定を 作った
 H0559 H3772 H1285 H0854 H4194 H2374 H7585

שִׁטָּן (שִׁטָּן) שׁוּטָף כִּי-עֵבֶר] (עֵבֶר) לֹא יְבוֹאֲנוּ כִּי שָׁמְנוּ כֹזֵב
 洪水の 押し-流す たとえ ー ー ー ー ー ー ー ー ー
 H7752 H7857 H3808 H0935 H3577 H7885

מִחֲסוֹנוֹ וּבְשִׁקָּר וְנִסְתָּרְנוּ:
 われらの-避け所と して-偶りの-中に 隠れた
 H4268 H8267 H5641

あなたがたは言った、「われわれは死と契約をなし、陰府と協定を結んだ。みなぎりあふれる災の過ぎる時にも、それはわれわれに来ない。われわれはうそを避け所となし、偽りをもって身をかくしたからである」。

16
 לְכוּ כֹה אָמַר אֲדַבֵּר יְהוָה יָסַד אֲבָן אֲבָן בְּצִיּוֹן הַנְּיָחוּ
 それゆえ このように 言われる 主なる 主は 見よ-わたしは 基を-置く シオンに 石を 石を
 H3541 H0559 H0136 H3069 H2009 H3245 H6726 H0068 H0068

בְּחֵן פְּנֵת יְקִרְתָּ מוֹסָד מוֹסָד מוֹסָד הַמְאֲמִין לֹא יִחְיֶשׁ:
 試された 隨の 尊い 置かれた 固く-基が 信じる-者は 急がない
 H0976 H6438 H3368 H4143 H3245 H0539 H3808

それゆえ、主なる神はこう言われる、「見よ、わたしはシオンに一つの石をすえて基とした。これは試みを経た石、堅くすえた尊い隅の石である。『信ずる者はあわてることはない』」。

מַחֲסֵה מְשֻׁפָּט וְשִׁמְתִי 17
 偽りの-避け所を 霽が 霽が 霽が 霽が 霽が 霽が 霽が
 H4268 H1259 H3261 H4949 H6666 H4941

וְצַדִּיקָה לְקוֹ מִים וְסִתֵּר כֹּזֵב
 そして-義を 測り-縄とし 水が 水が 水が 水が 水が 水が
 H7857 H4325 H4325 H3577

わたしは公平を、測りなわとし、正義を、下げ振りとする。ひょうは偽りの避け所を滅ぼし、水は隠れ場を押し倒す」。

אֶת־ וְחִזִּיתְכֶם מוֹת אֶת־ בְּרִיתְכֶם וְכִפֵּר 18
 ~との そして-あなたがたの-協定は 死との ~との あなたがたの-契約は そして-破棄される
 H0854 H2380 H4194 H0854 H1285

וְהֵייתֶם וְיַעֲבֹר כִּי שׁוֹטֵף שׁוֹט תִּקְוֶה לֹא שְׂאוֹל
 そして-あなたがたは-なる 通り-過ぎる-とき それが 押し-流す 洪水の 立たない 立たない よみとの
 H1961 H7752 H7752 H3808 H7585

לְמַרְמָס לֹא
 踏み-つけられる-者に それに
 H4823

その時あなたがたが死とたてた契約は取り消され、陰府と結んだ協定は行われない。みなぎりあふれる災の過ぎるとき、あなたがたはこれによって打ち倒される。

בְּבֹקֶר בְּבֹקֶר כִּי אֶתְכֶם יִקַּח עֲבָרוֹ מְרִי 19
 朝ごとに 朝ごとに なぜなら あなたがたを 捕らえる それが-通り-過ぎる-とき 通り-過ぎる-たびに
 H1242 H1242 H0853 H3947 H1767

שְׁמוּעָה: הָבִין זֹעָה רַק־ וְהָיָה וּבַלַּיְלָה בַּיּוֹם יַעֲבֹר
 知らせを 悟ることが 恐怖と ただ そして-なる そして-夜も 昼も 通り-過ぎる
 H8052 H0995 H2113 H7535 H1961 H3915 H3117

それが過ぎるごとに、あなたがたを捕える。それは朝な朝な過ぎ、昼も夜も過ぎるからだ。このおとずれを聞きわきまえることは、全くの恐れである。

כְּהַתְּכֹנֵס: צָרָה וְהַמְּסַכָּה מִהַשְׁתַּרְעַע הַמַּצָּע קָצֵר כִּי 20
 くるまるには 狭すぎる そして-毛布は 伸びるには 床は 短すぎる なぜなら
 H3664 H8311 H4702

床が短くて身を伸べることができず、かける夜具が狭くて身をおおうことができないからだ。

כְּעֵמֶק יְהוָה יִקְוֶה פְּרָצִים כְּהַר־ כִּי 21
 ギベオンの-谷の-ように 主は 立ち-上がる ペラツィムの ペラツィムの-山の-ように なぜなら
 H6010 H3068 H6559 H2022

וְלַעֲבֹד מַעֲשָׂהוּ זָר מַעֲשָׂהוּ לַעֲשׂוֹת יִרְגֵז בְּגִבְעוֹן
 そして-なす-ために その-わざを 異常な その-わざを 行う-ために 怒りを-発する ギベオンの
 H5647 H4639 H4639 H7264 H1391

עֲבָדָתוֹ: עֲבָדָתוֹ נִכְרָה עֲבָדָתוֹ
 その-働きを 奇妙な その-働きを
 H5656 H5237 H5656

主はペラジム山で立たれたように立ちあがり、ギベオンの谷で憤られたように憤られて、その行いをなされる。その行いは類のないものである。またそのわざをなされる。そのわざは異なったものである。

22
 וְעַתָּה אֵל-תִּתְּלוּצְצוּ פֶן-יִחַזְקוּ מוֹסְרֵיכֶם כִּי-כִלָּה 22
 終わりと なぜなら あなたがたの-繋ぎが 強く-なる さもなくば 嘲っては するな そして-今
[H3617](#) [H4147](#) [H2388](#) [H6435](#) [H3887](#) [H0408](#) [H6258](#)

וְנִחְרָצָה שְׁמֵעֵתִי מֵאֵת אֲדֹנָי יְהוָה צְבָאוֹת עַל-כָּל-הָאָרֶץ:
 地の 全 ~について 万軍の 主から 主なる ~から 聞いた そして-定められた-ことを
[H0776](#) [H3605](#) [H3069](#) [H0136](#) [H0854](#) [H8085](#) [H2782](#)

それゆえ、あなたがたはあざけってはならない。さもないと、あなたがたのなわめは、きびしくなる。わたしは主なる万軍の神から全地の上に臨む滅びの宣言を聞いたからである。

23
 וְהִאֲזִינוּ וְשָׁמְעוּ קוֹלִי וְהִקְשִׁיבוּ וְשָׁמְעוּ אִמְרֹתַי:
 わたしの-言葉を そして-聞け 注意せよ わたしの-声を そして-聞け 耳を-傾けよ
[H8085](#) [H7181](#) [H8085](#) [H0238](#)

あなたがたは耳を傾けて、わが声を聞くがよい。心してわが言葉を聞くがよい。

24
 הֲכֵל הַיּוֹם יִחְרַשׁ יִחְרַשׁ הַחֹרֵשׁ לְזֶרַע יִפְתָּח וְיִשְׂדֵד אֲדָמָתוֹ:
 絶えず 一日中 耕すのか 耕す-者は 耕す-ために 開き 種を-まく-ならず その-土を
[H3117](#) [H3605](#) [H2232](#) [H7702](#) [H0127](#)

種をまくために耕す者は絶えず耕すだろうか。彼は絶えずその地をひらき、まぐわをもって土をならすだろうか。

25
 הֲלוֹא אִם-שָׁנָה פְּנִיָּה קִצְחַת וְכִמְנוּ
 ~ではないか それが 平らに-したとき その-表面を そして-まく イノンドを そして-クミンを
[H3808](#) [H6440](#) [H7100](#) [H3646](#)

וְזָרַק וְשָׂם חֲטָה שׁוֹרְהָ וְשָׁעֲרָה וְנִסְמָן וְכִסְמַת נִבְלָתוֹ:
 散らす そして-植える 小麦を 列に そして-大麦を 定められた-場所に 裸麦を そして-境界に
[H2236](#) [H2406](#) [H7795](#) [H8184](#) [H5567](#) [H3698](#) [H1367](#)

地のおもてを平らにしたならば、いのんどをまき、クミンをまき、小麦をうねに植え、大麦を定めた所に植え、スペルト麦をその境に植えないだろうか。

26
 וַיְסֵרוּ לְמִשְׁפָּט אֱלֹהָיו יוֹרְנוּ:
 そして-教える 正しく その-神が 導かれる
[H3256](#) [H4941](#) [H0430](#)

これは彼の神が正しく、彼を導き教えられるからである。

27
 כִּי לֹא בְּחַרוּץ יִדָּשׁ קִצְחַת וְאוּפָן עֲגֹלָה עַל-
 なぜなら 脱穀-機では 打ち-穀の 打ち-脱穀されない イノンドは 車輪で そして-車輪で ~の-上を
[H3808](#) [H1758](#) [H7100](#) [H0212](#) [H5699](#)

כִּי יוֹסֵב כִּמְנוּ כִּי בְּמַטָּה יִחַבֵּט קִצְחַת וְכִמְנוּ בְּשֹׁבֵט:
 回されない クミンの 棒で 打ち-脱穀される イノンドは 車輪で そして-クミンは 地で
[H5437](#) [H3646](#) [H4294](#) [H2251](#) [H7100](#) [H3646](#) [H7626](#)

いのんどは麦こき板でこかない、クミンはその上に車輪をころがさない。いのんどを打つには棒を用い、クミンを打つにはさおを用いる。

28
 לֶחֶם יִדָּקַק כִּי לֹא לִנְצַח אֲדָוָשׁ יְדוּשְׁנוּ וְהָמָם
 パンの-穀物は 砕かれる しかし 永遠に 永久に 脱穀する 脱穀しない そして-駆り-立てても
[H3899](#) [H1854](#) [H3808](#) [H5331](#) [H0156](#) [H1758](#) [H2000](#)

וְגִלְגָּל עֲגוּלָתוֹ וּפָרְשָׁיו לֹא-יִדָּקְנוּ
 車輪を 車の そして-その-馬で 砕かない 砕かない
[H5699](#) [H1536](#) [H1854](#) [H3808](#)

人はパン用の麦を打つとき砕くだろうか、否、それが砕けるまでいつまでも打つことをしない。馬をもってその上に車輪を引かせるとき、それを砕くことをしない。

הַגְדִּיל	עָצָה	הִפְלִיא	יָצְאָה	צְבָאוֹת	יְהוָה	מֵעַם	זֹאת	גַּם־	
大いなる	勅を-与え	驚くべき	出た	万軍の	万軍の-主から	~から-出た	これは	これも-また	
H1431	H6098	H6381	H3318		H3068		H2063	H1571	
								וְ	תוֹשִׁיבָה:
								—	知恵を
									H8454

これもまた万軍の主から出ることである。その計りごとは驚くべく、その知恵はすぐれている。